

とくていぎのう ごう  
特定技能1号

さかん ぎのうひょうかしけん じつぎ じっしもんだい  
「左官」技能評価試験（実技）実施問題

いっばんようこう  
1.一般要項

ぎのうひょうかしけん じつぎ さぎょう じゅけんしゃ い か てん ちゅうい  
技能評価試験（実技）における作業において、受験者は以下の点を注意する。

- ① しけんちゅう しご つつし  
試験中は私語を慎む。
- ② してい こうぐいがい も こ ただ どうぐ しょう  
指定された工具以外は持ち込まず、正しく道具を使用する。
- ③ た じゅけんしゃ こうぐとう か か きんし  
他の受験者と工具等の貸し借りは禁止する。
- ④ かかり ひと せつめい き  
係の人の説明をよく聞く。
- ⑤ しきょう ざいりょう か だいてう くる しら くる おも ば  
支給された材料や架台等に狂いがいないか調べる。狂いがあると思われる場  
あい かかり ひと もう で  
合は係の人に申し出る。
- ⑥ た じゅけんしゃ そうだん さぎょう  
他の受験者と相談をして作業をしてはならない。
- ⑦ じかんない し あ ひょうじゅんじかん こ さぎょう おこな ばあい ちょうか  
時間内に仕上げる。なお標準時間を超えて作業を行った場合は、超過  
じかん おう げんてん う き じかんご しつかく  
時間に応じて減点する。打ち切り時間後は、失格とする。
- ⑧ さぎょう しゅうりょう じゅけんしゃほんにん かかり ひと しゅうりょう もう で  
作業が終了したら、受験者本人が係の人に終了を申し出る。
- ⑨ さぎょう かかり ひと しじ したが してい ばしょ おこな  
作業は、係の人の指示に従って、指定された場所で行う。
- ⑩ ざいりょう ほきゅう きょしゅ かかり ひと う と  
材料の補給は、挙手をして、係の人から受け取る。
- ⑪ かだい さぎょうしゅうりょうご さくひん て ふ  
課題の作業終了後の作品には手を触れてはいけない。
- ⑫ さぎょうちゅう ほんにん たにん ちゅうい  
作業中は、本人のみならず他人にけがのないように注意をする。
- ⑬ さぎょうちゅう た じゅけんしゃ めいわく  
作業中は、他の受験者に迷惑をかけないようにする。
- ⑭ せいりせいとん つね ところ  
整理整頓を常に心がける。
- ⑮ さぎょうしゅうりょうじてん しょうこうぐ ざんざいりょう あとしまつ おこな うえ かかり  
作業終了時点において、使用工具・残材料の後始末を行った上で、係  
ひと しゅうりょう もう で のち しけんかいじょう たいじょう ごと しけんかいじょう  
の人に終了を申し出た後、試験会場を退場し、その後は試験会場には  
さいにゅうじょう  
再入場できない。
- ⑯ もんだい じぜん か こ しけんちゅう た ようし  
この問題には、事前に書き込みをしてはならない。試験中には他の用紙に  
め も さんこうしょ み  
メモをしたものや参考書を見てはならない。
- ⑰ さぎょうふく さぎょうくつ じさん  
作業服・作業靴は持参すること。
- ⑱ すまーとふおん けいたいでんわ でんたく も こ きんし  
スマートフォン、携帯電話、電卓は持ち込み禁止とする。



じつぎしけん もはん ふくそう  
実技試験での模範とする服装

## じつぎしけんようこう 2.実技試験要項

### しょうこうぐ どうぐとう 使用工具、道具等

しょうこうぐ どうぐ い か ひょう しめ じゅけんしゃ じさん どうぐ まるじるし しめ  
使用工具、道具は以下の表1に示す。受験者が持参してよい道具は○印として示す。

ひょう 表1 左官技能評価試験(実技) 使用工具等一覧表			
じさんかのう しょうこうぐ どうぐ 持参可能な工具・道具	こうぐめい 工具名	すんぼう きかく 寸法・規格	すうりょう 数量
○	れんが レンガごて	ごう 3号	1
○	こていた	てきぎ 適宜	1
○	なかくびこて ぬりごて中首鍍	150 mm~210 mm	1
○	きりつけごて	120 mm	1
○	きごて	180~210 mm	1
○	ちりぼうき		1
	あら 洗いばけ		1
○	すけーる スケール、さしがね		1
○	すみつぼ	さかんよう 左官用	1
○	すみさし	たけせい 竹製	1
○	さしがね	すてんれすせい ステンレス製650*450 mm	1
○	こんべっくすけーる コンベックスケール	25 mm * 5m	1
	ばけつ バケツ	しょう 小	2
○	ぞうきん		1
○	びにーるしーと ビニールシート	1m × 1m	1
○	えんぴつ け ごむ 鉛筆・消しゴム		1



ひょう しめ じつぎしけん どうぐ  
表 1 に示す実技試験の道具

### じつぎしけんさぎょうこうてい 3.実技試験作業工程

つぎ さぎょうこうてい したが かないず かんせい  
次の作業工程に従い課題図のとおりに完成させなさい。

#### すみだ さぎょうこうてい (1) 墨出し作業工程

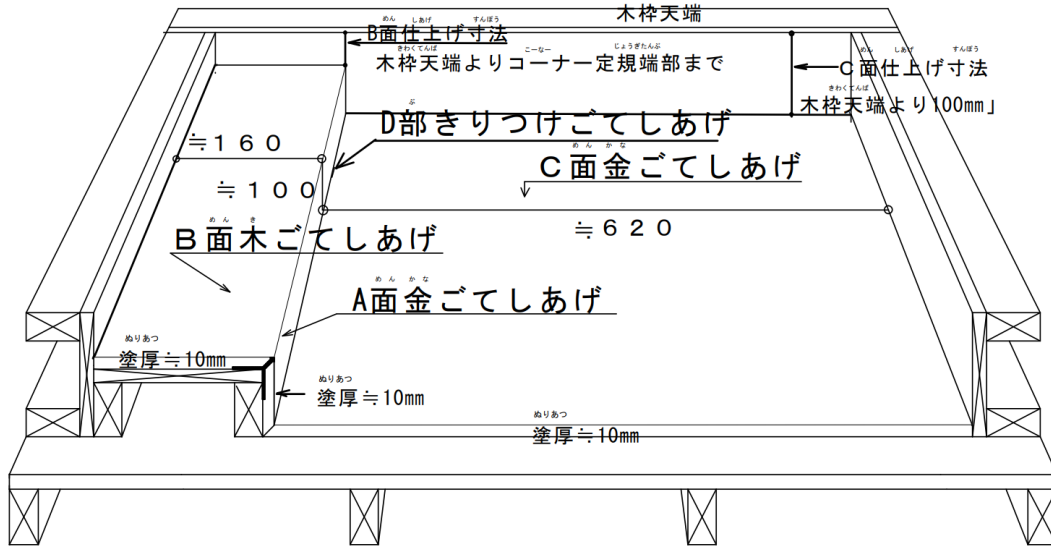
- ① A面、B面及びC面の仕上げ墨出しを行うこと。
- ② A面及びB面は、コーナー定規にあわせること。
- ③ C面は、木枠天端より100mm下がりを目基準とする。

#### ぬ つ しあ さぎょうこうてい (2) 塗り付け・仕上げ作業工程

- ① A～C面に、かるく水湿しをすること。
- ② こすりをして鏝で十分に押さえて塗り付けること。
- ③ A面の仕上げは、金ごてで垂直に仕上げること。
- ④ A面仕上がり面は、コーナー定規に合わせること。
- ⑤ B面はモルタルを塗り、木ごてで平坦に仕上げること。
- ⑥ C面を塗る前に仕上げたA面にC面を仕上げるため陸墨(水平墨)を出すこと。
- ⑦ C面は周囲木枠天端から100mm下がりで金ごてで平坦に仕上げること。
- ⑧ D部をきりつけごてで仕上げ、C面のきりつけごてあと(はね)の修正を金ごてで行うこと。
- ⑨ 周囲木枠部分とモルタル仕上げの接する部分の周囲木枠を清掃し、A面の清掃あとを金ごてで修正すること。
- ⑩ 塗残し等の確認をする。道具等を洗浄し洗いばけで作業場を清掃する。

じつぎしけんもんだいかだいず  
**4.実技試験問題課題図**

- (1) 実技技能評価試験は次の①・②の寸法を基準とする。
- ① A面の塗り厚の基点は、木枠天端よりコーナー定木の天端とする。
- ② C面の塗り厚の基点は、木枠天端より100mm下がりの高さとする。



じつぎしけんもんだいかだいず  
**実技試験問題課題図**

さぎょうじかん  
**(2) 作業時間**

さぎょうじかん ひょうじゆんじかん ふんいなき うちき じかん ふん  
 作業時間は標準時間を60分以内とし打ち時間を75分とする。

じつぎしけん ごうかくてん  
**5.実技試験の合格点**

じつぎしけんさいてんもんだい したが ごうかくてん てんまんてん てんいじよう  
 実技試験採点問題に従い合格点は、100点満点のうち60点以上とする。